

## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

剰余金配当基準日 3月31日(期末配当)  
9月30日(中間配当)

定時株主総会 毎年6月(基準日:3月31日)

公告の方法 電子公告の方法により行います。  
公告掲載URL  
<http://www.nisshinbo.co.jp/>

※事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

### 株式に関するお手続き

[証券会社で口座を開設されている株主様]  
当該証券会社にご連絡ください。

[証券会社で口座を開設されていない株主様]  
三菱UFJ信託銀行(特別口座管理機関)に  
ご連絡ください。

TEL 0120-244-479 (通話料無料:24時間受付)

インターネット <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

## Web Information -ホームページのご案内-

当社ホームページでは、当社のCM動画を公開している「ドッグシアター」をはじめ、IR情報も充実させ、豊富なインフォメーションを掲載しております。是非ご利用ください。



Topページ



CMページ

アドレスはこちら▶

<http://www.nisshinbo.co.jp/>

# NISSHINBO

第173期  
中間期  
**株主通信**  
2015年4月1日～2015年9月30日

日清紡ホールディングス株式会社

〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

VEGETABLE  
OIL INK



日清紡ホールディングス株式会社

証券コード 3105

## ■株主の皆様へ

### グローバル社会に貢献する「環境・エネルギーカンパニー」グループとして企業価値の向上を目指します。



代表取締役社長  
かわた まさや  
河田 正也

株主の皆様には、日頃より日清紡グループへの格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日清紡グループは、事業のグローバル化に適切に対応したグローバル・コンプライアンスの取り組みのもと、「環境・エネルギーカンパニー」グループとして、株主の皆様から一層の評価と信頼を得ることを目指しています。

2017年度売上高6,000億円、ROE9%の目標達成に向け、「既存事業の強化」、「研究開発の成果発揮」、「M&Aの積極展開」を成長の3本柱とし、「事業力・事業化力の強化」を本年度の経営方針として、グループ一丸となって全力で取り組んでいます。また、長期戦略目標として2025年度売上高1兆円、ROE12%超を掲げ、10年後を見据えた経営を行ってまいります。

株主還元については、本年5月に配当政策を変更し、連結配当性向30%程度を目安として安定的かつ継続的に配当を行うこととしました。この新しい配当政策に基づき、当期の中間配当額は、前期の中間配当額から7.5円増配し1株当たり15円といたしました。なお、当期の年間配当額は、1株当たり30円となる予定です。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## Contents

株主の皆様へ	p-1	ニュース&トピックス	p-8
当第2四半期(中間期)の連結業績について	p-2	株式に関するお知らせ	p-9
日清紡グループの事業概況	p-3	会社・株式概要	p-10
連結財務諸表の概要	p-5	株主メモ・Web Information	巻末
特集「M&Aを活用した事業拡大」	p-7		

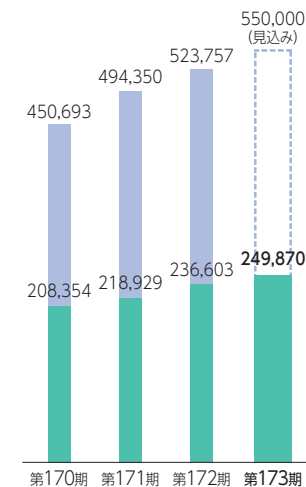
## ■当第2四半期(中間期)の連結業績について

### 売上高

**2,498億70百万円**

(前年同期比5.6%増)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:百万円)

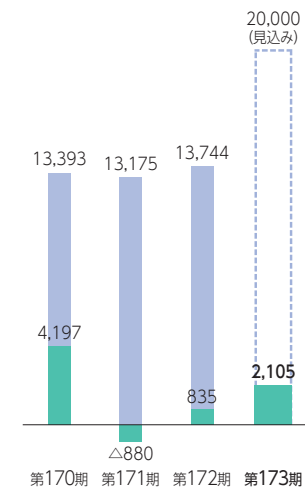


### 営業利益

**21億5百万円**

(前年同期比151.9%増)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:百万円)

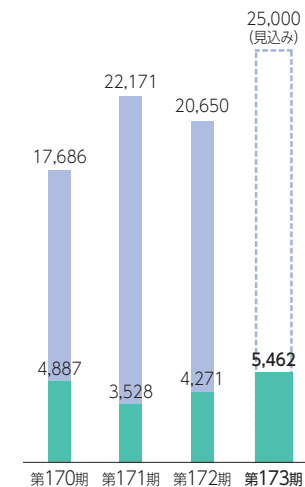


### 経常利益

**54億62百万円**

(前年同期比27.9%増)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:百万円)

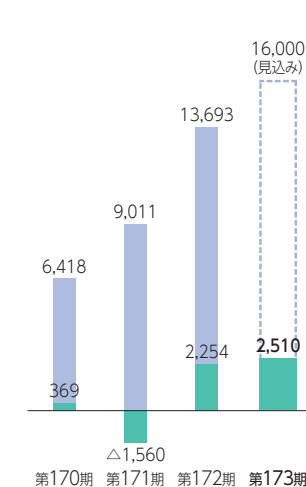


### 親会社株主に帰属する四半期純利益

**25億10百万円**

(前年同期比11.3%増)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:百万円)



\*「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当期より、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としており、前連結会計年度までの四半期(当期)純利益についても科目名を統一しております。

当第2四半期(中間期)における日清紡グループの売上高は、エレクトロニクス事業では日本無線(株)、新日本無線(株)の売上が増加し、繊維事業では新たに東京シャツ(株)を連結子会社としたことなどにより、増収となりました。

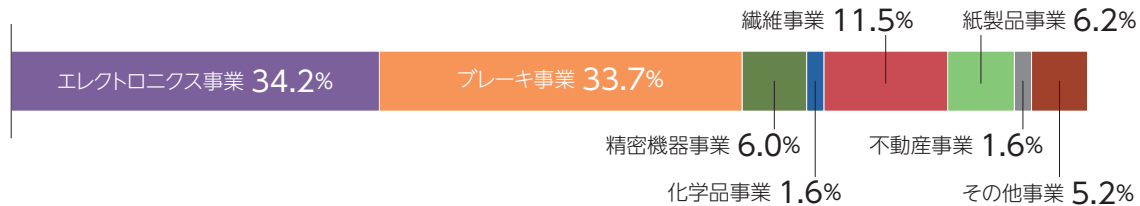
営業利益は、エレクトロニクス事業が新日本無線(株)の電子デバイスの好調、長野日本無線(株)の採算改

善等により黒字に転換し、繊維事業が東京シャツ(株)の連結子会社化により増益となったほか、ブレーキ事業も損益が改善したことなどにより、大幅な増益となりました。

経常利益は、営業利益の改善により増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益も増益となりました。

# ■ 日清紡グループの事業概況

## 事業別売上比率



## エレクトロニクス事業

情報通信機器、半導体製品、電源装置など



**売上高** 853億52百万円  
(前年同期比3.0%増)

**営業利益** 65百万円  
(前年同期比3億87百万円の改善)

日本無線(株)の海上機器事業が造船市場の活況を受けて売上が増加したほか、新日本無線(株)の電子デバイスの好調や長野日本無線(株)の業績改善などにより、増収となり黒字化しました。

## ブレーキ事業

摩擦材、アッセンブリ製品など



**売上高** 841億7百万円  
(前年同期比3.4%増)

**営業利益** △3億16百万円  
(前年同期比4億9百万円の改善)

国内販売は減少しましたが、TMD社など海外子会社の売上増や円安の影響などから増収となり、TMD社買収等に伴うのれんの償却費負担により損失を計上したものの、損益は改善しました。

## 精密機器事業

精密部品加工、プラスチック製品など



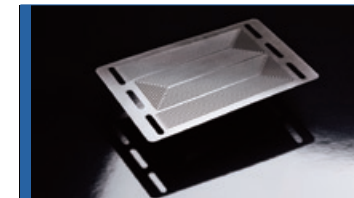
**売上高** 150億9百万円  
(前年同期比6.1%増)

**営業利益** 2億52百万円  
(前年同期比20.8%減)

精密部品事業の中国子会社の販売増などにより増収となったものの、プラスチック製品事業は家電向け製品が国内、海外ともに販売低調だったことなどにより、減益となりました。

## 化学品事業

断熱製品、機能化学品、燃料電池セパレータなど



**売上高** 39億67百万円  
(前年同期比4.8%増)

**営業利益** 2億93百万円  
(前年同期比3億35百万円の改善)

断熱製品は住宅着工件数が低迷した影響を受けたものの、機能化学品が改質剤の売上増により増収・増益となり、また燃料電池セパレータの経費節減などにより損益が改善したため、増収となり黒字化しました。

## 繊維事業

シャツ、テキスタイル、デニム、スパンデックス・エラストマーなど



**売上高** 286億75百万円  
(前年同期比12.3%増)

**営業利益** 8億89百万円  
(前年同期比8億20百万円の増加)

インドネシアやブラジル子会社の売上が伸びなかったものの、不織布やスパンデックス糸・エラストマーの堅調に加え、東京シャツ(株)の連結子会社化の効果により、増収・増益となりました。

## 紙製品事業

家庭紙、洋紙、紙加工品など



**売上高** 154億63百万円  
(前年同期比6.1%増)

**営業利益** 3億62百万円  
(前年同期比63.0%増)

円安による原材料高の影響があったものの、家庭紙の販売数量の回復や、ファインペーパー・合成紙の需要回復・高収益性製品の堅調などにより、増収・増益となりました。

## 不動産事業

宅地分譲、土地・建物賃貸など



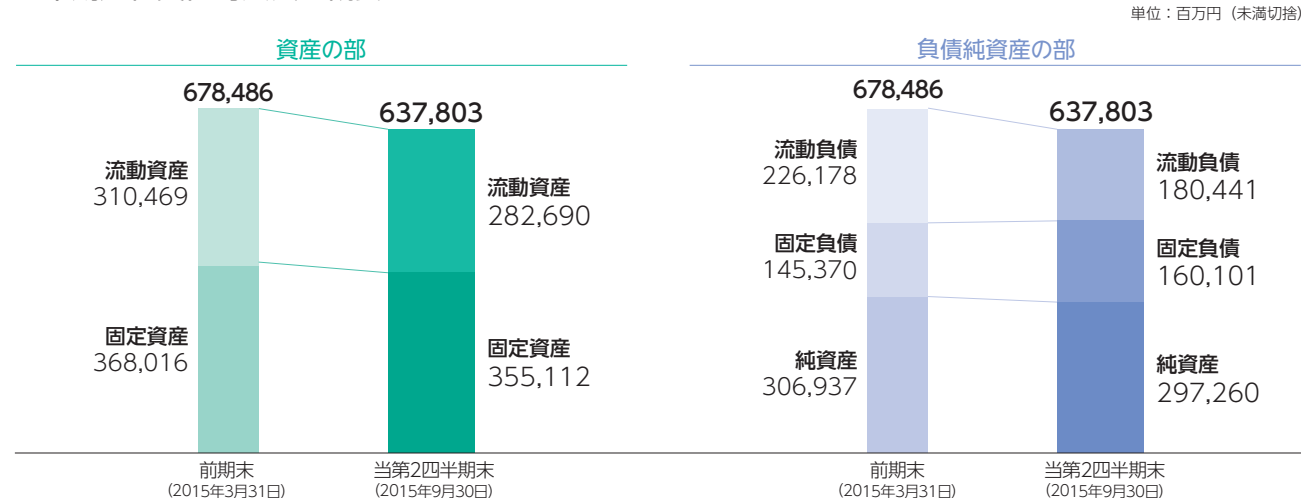
**売上高** 41億3百万円  
(前年同期比11.2%減)

**営業利益** 27億70百万円  
(前年同期比20.0%減)

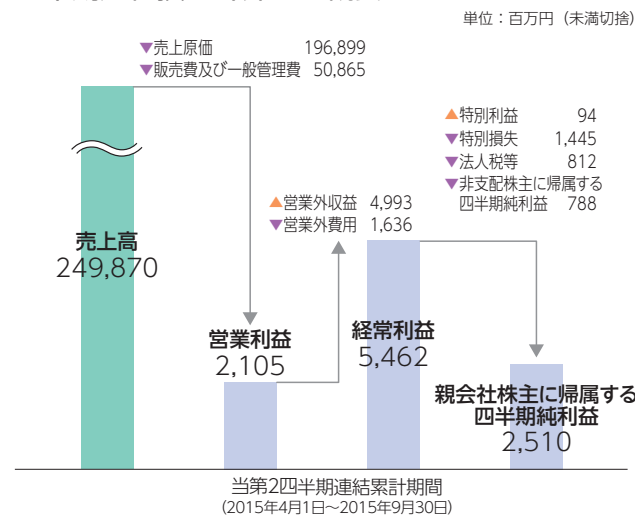
事業所跡地を活用した宅地分譲事業や土地・建物賃貸事業は順調に推移したものの、前期末で能登川事業所跡地(滋賀県)の分譲が終了したため、減収・減益となりました。

# ■ 連結財務諸表の概要

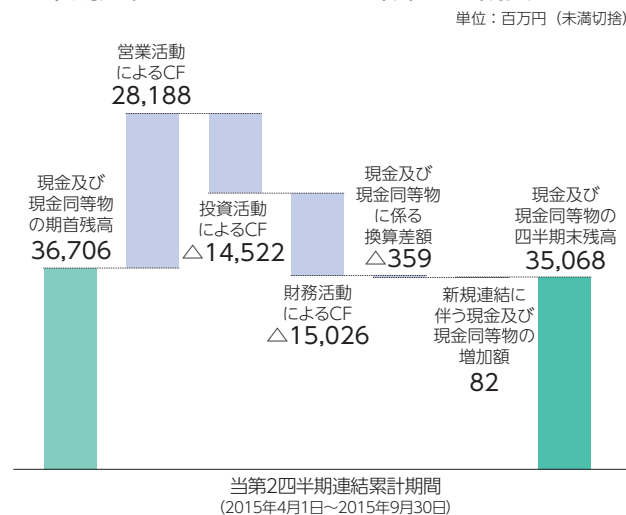
## 四半期連結貸借対照表の概要



## 四半期連結損益計算書の概要



## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当期より、「少数株主持分」を「非支配株主持分」としております。

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当期より、「少数株主損益調整前四半期純利益」は「四半期純利益」に、「少数株主損益」は「非支配株主に帰属する四半期純利益」に、「四半期純利益」は「親会社株主に帰属する四半期純利益」としてしております。

## 四半期連結貸借対照表の要旨

単位：百万円（未満切捨）

科目	前期末 (2015年3月31日)	当第2四半期末 (2015年9月30日)	科目	前期末 (2015年3月31日)	当第2四半期末 (2015年9月30日)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	310,469	282,690	流動負債	226,178	180,441
固定資産	368,016	355,112	固定負債	145,370	160,101
有形固定資産	184,885	185,869	<b>負債合計</b>	<b>371,548</b>	<b>340,542</b>
無形固定資産	35,914	30,177	<b>純資産の部</b>		
投資その他の資産	147,216	139,065	株主資本	186,301	187,685
			その他の包括利益累計額	72,608	61,538
			新株予約権	221	166
			非支配株主持分	47,805	47,870
<b>資産合計</b>	<b>678,486</b>	<b>637,803</b>	<b>純資産合計</b>	<b>306,937</b>	<b>297,260</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>678,486</b>	<b>637,803</b>

## 四半期連結損益計算書の要旨

単位：百万円（未満切捨）

科目	前第2四半期連結累計期間 (2014年4月1日から2014年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2015年4月1日から2015年9月30日まで)
売上高	236,603	249,870
売上原価	189,179	196,899
売上総利益	47,423	52,971
販売費及び一般管理費	46,587	50,865
<b>営業利益</b>	<b>835</b>	<b>2,105</b>
営業外収益	4,657	4,993
営業外費用	1,221	1,636
<b>経常利益</b>	<b>4,271</b>	<b>5,462</b>
特別利益	1,669	94
特別損失	2,845	1,445
税金等調整前四半期純利益	3,095	4,110
法人税等	434	812
<b>四半期純利益</b>	<b>2,661</b>	<b>3,298</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	406	788
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>2,254</b>	<b>2,510</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

単位：百万円（未満切捨）

科目	前第2四半期連結累計期間 (2014年4月1日から2014年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2015年4月1日から2015年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,224	28,188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,795	△14,522
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,883	△15,026
現金及び現金同等物に係る換算差額	△413	△359
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	132	△1,719
現金及び現金同等物の期首残高	24,824	36,706
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	664	82
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>25,621</b>	<b>35,068</b>

### ● 中間配当について

当期の中間配当金については下記のとおり決定いたしました。

1. 中間配当金 1株につき金15円
2. 中間配当の効力発生日ならびに支払開始日 2015年12月4日(金)

# M&Aを活用した事業拡大

## シャツ事業の新たな飛躍を目指して—東京シャツ株式会社の子会社化—

本年5月18日、当社子会社である日清紡テキスタイル(株)の株式取得により、東京シャツ(株)が新たに日清紡グループに加わりました。

東京シャツ(株)は、1949年に創業した老舗のシャツメーカーであり、商品の企画から製造、小売までを一貫して行うSPA\*型小売業(製造小売)として国内に200を超える店舗を展開しています。

今後は、日清紡テキスタイル(株)が高付加価値・高品質な生地 の供給を行いながら、両社が協業して素材開発、商品開発、新業態の開発などを進め、素材・製品・小売の一貫体制によるビジネスモデルを強化し、繊維事業の拡大を目指します。

\*SPA: Specialty store retailer of Private label Apparelの略。各店舗で把握した顧客ニーズを迅速・的確に商品の開発・製造・在庫管理に活用できるほか、流通コストの削減などのメリットがある。



ブランド紹介

### BRICK HOUSE by Tokyo Shirts

形態安定加工を施したビジネスシャツのほか、ネクタイ・カジュアルシャツ・ニット・カットソー・小物も取り扱う東京シャツ(株)のメインブランドです。

### CAMICIA SARTORIA TOKYO

60年以上のものづくりの技術を活かし、「国産」にこだわった上質なシャツを既製品、フルオーダーサービスで提供するハイクラスのブランドです。

## プラスチック製品事業のさらなる成長のために—南部化成株式会社の子会社化—

本年10月19日、株式取得により、プラスチック製品メーカーの南部化成(株)が当社子会社である日清紡メカトロニクス(株)の子会社となりました。

南部化成(株)は、自動車用ワイヤーハーネスやヘッドランプ廻りのプラスチック製品事業を主力とし、医療、情報・通信機器分野にも強みを持っています。

また、日清紡メカトロニクス(株)のプラスチック製品事業は、空調機ファンを中心に、家電用製品の製造・販売で成長し、現在は、カーエアコン用ファンやラジエーター用ファンなど車載分野にもビジネスを展開しています。

南部化成(株)が日清紡グループの一員となったこと

で、需要拡大が期待される車載ビジネスの拡充を図り、プラスチック製品事業を精密機器事業セグメントの成長エンジンとして育成していきます。

南部化成(株)  
(本社・テクノセンター)



## ■ ニュース&トピックス

### 日本無線、100周年を迎える

日清紡グループのエレクトロニクス事業の中核をなす、当社子会社の日本無線(株)がこのたび創立100周年を迎えました。

同社は、1915年(大正4年)に「匿名組合日本無線電信機製造所」として創立以来、一貫して無線通信技術を柱とした製品群を世界に送り出し、一世紀にわたって、社会の求める利便性と安全・安心に貢献し続けてきました。

今後も社会に必要とされる企業であり続けるため、最新の通信技術の開発に取り組み、世界の人々の「安全・安心・環境保全」に貢献し、「高度情報化社会」を実現するソリューションカンパニーを目指します。

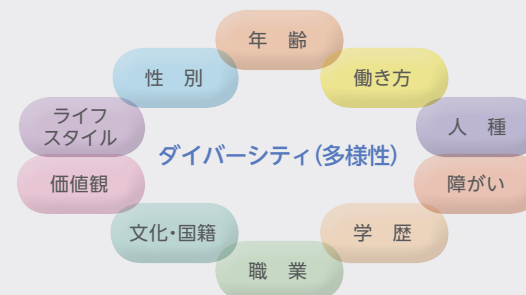


### 「ダイバーシティ推進室」発足

当社は、ダイバーシティ経営を推進するため、本年7月1日付で「ダイバーシティ推進室」を設置しました。

「ダイバーシティ」とは多様性を意味し、企業として持続的な成長と企業価値の向上をグローバルに実現していくためには、性別や国籍、障がいの有無、年齢や居住区域、家族構成、個人の価値観や文化なども含め、多様性を持った人財を活かす積極的な取り組みが必須となります。

重点施策として「女性」「海外人財」「シニア層」の活躍推進を掲げ、日清紡グループ全体でダイバーシティへの取り組みを進めていきます。



### 株主優待制度を通じて「東日本大震災義援金」へ寄付

当社では、株主様と当社がともに行う社会貢献活動として、株主優待制度を通じた日本赤十字社「東日本大震災義援金」への寄付を2011年から続けて実施しています。本年度は149名の株主様のご賛同をいただき、これに

当社および日清紡グループ従業員からの寄付を含めて100万円の寄付を行いました。

株主様には厚く御礼申し上げるとともに、引き続き社会貢献活動に取り組んでまいります。

## ■ 株式に関するお知らせ

### 当社株式の単元株式数変更のお知らせ

1,000株 → 100株

当社は、本年10月1日付で当社株式の単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。これにより、

- 各証券取引所における当社株式の売買単位が100株となりました。売買単位が10分の1となったことで最低購入価格が下がり、当社株式が購入しやすくなりました。
- 株主総会における議決権行使が100株からできるようになりました。
- 単元未満株式の買取・買増請求は1株から99株が対象となりました。
- 単元株式数の変更により株主様に行っていた手続きは特にありません。

### 単元株式数引下げ後の株主優待制度について

株主優待制度は、これまでと同様に、毎年3月31日現在の株主名簿に記載されている当社株式を1,000株以上保有する国内在住の個人株主の方が対象となります。

株式の一部売却などにより3月31日時点で保有株式数が1,000株未満となった場合は、株主優待の対象とはなりませんので、ご注意ください。

### 当社株式の所属業種変更のお知らせ

繊維製品 → 電気機器

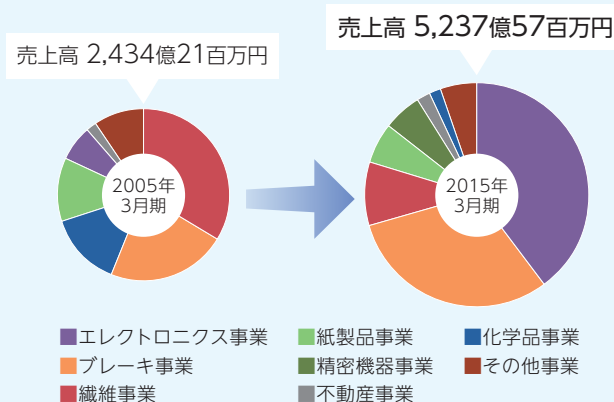
各証券取引所における当社株式の所属業種は、これまで「繊維製品」に分類されていましたが、証券コード協議会の決定により、本年10月1日より「電気機器」に変更されました。

これは、日清紡グループの事業別売上比率において「繊維事業」が減少し、「エレクトロニクス事業」が最大のセグメントになったことによるものです。

このため、新聞各紙の株式欄などの表示箇所も「電気機器」に変更されております。

なお、証券コード(3105)については変更ありません。

### 連結売上高構成比の推移



## ■ 会社・株式概要 (2015年9月30日現在)

### 会社概要

商号	日清紡ホールディングス株式会社 Nisshinbo Holdings Inc.
設立	1907(明治40)年2月5日
資本金	27,587,976,204円
従業員	201名(単体) 22,034名(連結)
本社	〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11

### 主なグループ会社

グループ会社	137社(国内46社、海外91社)
・連結子会社	105社
・非連結子会社	13社(うち持分法適用会社1社)
・関連会社	19社(うち持分法適用会社7社)

### エレクトロニクス事業

日本無線(株)、新日本無線(株)、長野日本無線(株)、上田日本無線(株)

### プレキ事業

日清紡プレキ(株)、TMD FRICTION GROUP S.A.、日清紡オートモーティブマニュファクチャリング[アメリカ]、日清紡ソンプーンオートモーティブ[タイ]、セロン・オートモーティブコーポレーション[韓国]

### 精密機器事業

日清紡メカトロニクス(株)、日清紡精機広島(株)、日清紡メカトロニクス(上海)、日清紡メカトロニクス(タイランド)

### 化学品事業

日清紡ケミカル(株)、(株)日新環境調査センター

### 繊維事業

日清紡テキスタイル(株)、東京シャツ(株)、ブラジル日清紡、ニカワテキスタイルインダストリー、日清紡インドネシア

### 紙製品事業

日清紡ペーパープロダクツ(株)、日清紡ポスタルケミカル(株)、東海製紙工業(株)、大和紙工(株)

### 役員

取締役	取締役会長*1	鷓澤	静
	取締役社長*1	河田	正也
	取締役専務執行役員	村上	洋
	取締役常務執行役員	萩原	伸幸
	取締役常務執行役員	西原	孝治
	取締役執行役員	土田	隆平
	取締役執行役員	木島	利裕
	取締役執行役員	奥川	隆祥
	取締役執行役員	馬場	一訓
	取締役*2	秋山	智史
	取締役*2	松田	昇典
	取締役*2	清水	啓
	取締役*2	藤野	しのぶ

\*1は代表取締役 \*2は社外取締役

### 監査役

常勤監査役	藤原	洋一
常勤監査役	大本	巧洋
監査役*	川上	俊彦
監査役*	富田	

\*は社外監査役

### 株式状況

発行可能株式総数	371,755,000株
発行済株式総数	178,798,939株
株主数	10,522名

### 所有者別株式分布状況

